

2019年10月号

10月15日(火)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 277



過ぎ去る台風、近づく冬…

台風19号が通過していきました。今回、北海道では幸いにも被害はほとんどありませんでしたが、3年前には台風が連続で上陸・接近したこともあり、やはりこの時期は風水害には気をつけたいところです。

その台風が過ぎ去った後、ひんやりとした晩秋の空気が流れ込み、生きものたちの動きも変わってきました。冬もすぐそこに迫っています。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ハンノキの実】
カバノキ科 榛の木
ハンノキが緑色の実が風に揺れています。今年は実なりは例年並みのようです。茶色く見えているのは昨年の実の跡です。



【ヤマドリゼンマイ】
ゼンマイ科 山鳥糞
湿原の至る所で見られ、夏に広げた葉が秋になると黄葉するシダ植物の一種です。他の植物が枯れてくると特に目立ちます。



【マユミ】
ニシキギ科 真弓
今年は特に実が豊作のようで、温根内周辺でも鮮やかなピンク色が目を引きまます。冬場の野鳥たちの貴重な食糧にもなります。



【△キタケ】
キシメジ科 剥茸
湿原内のハンノキの枯れ木に群生していました。ミズナラなどの倒木にも生えます。表皮が剥けることからこの名前がついています。



【イブキヒメギス】
キリギリス科
あまり目立たない本種。オスの背中にはコオロギなどと同様に発音器官があり、落葉の陰でキシッ、キシッという音を発しています。



【アキアカネ】 トンボ科
全国に生息し、温根内でも普通に見かけます。いわゆる「赤とんぼ」の代表のような本種ですが、近年では全国的にその数が減少しているそうです。

○表紙の写真 上：風に揺れるヨシの穂 中右：ヌメリスギタケモドキ 中左：アオジ 下：コクワの実

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

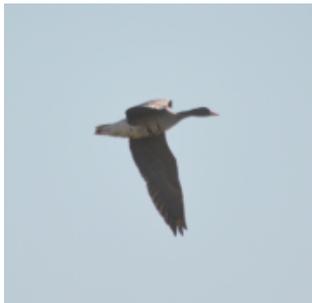
上空を通過していくヒシクイの群れなど、越冬地へ移動する旅鳥や夏鳥が頻繁に確認されるようになりました。季節の移り変わりとともに、野鳥たちの動きも変わってきているのを感じます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸出しております。お気軽に職員までお申し付けください。



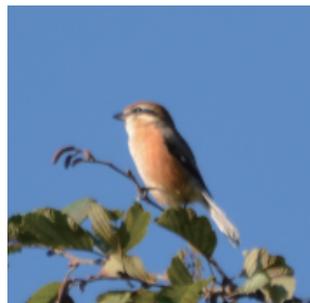
【キセキレイ】 夏鳥
セキレイ科 黄鶺鴒
黄色いお腹が特徴で、VCの周りをチョロチョロと餌を探しながら歩いていました。温根内周辺では稀に見かけます。



【コアカゲラ】 留鳥
キツツキ科 小赤啄木鳥
メスがハンノキを飛び移りながら餌を探していました。年に数回ほどしか見かけない種で、国内ではほぼ北海道のみで見られます。



【マガン】 旅鳥
カモ科 真雁
このところ毎年見かけるようになったマガン。この日は1羽だけで飛び回っていました。ヒシクイよりも高い声で鳴きます。



【モズ】 夏鳥（一部越冬）
モズ科 百舌鳥
温根内周辺に複数羽が来ており、「ギョン、ギョン」という特徴ある声が湿原に響き渡ります。この冬も越冬していくのでしょうか。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（9月15日～10月14日）※和名は五十音順 *外来種

■アキノウナギツカミ■イヌタデ■イヌトウバナ■イヌホオズキ■ウツボグサ■ウメバチソウ■エゾイヌゴマ■エゾオヤマハコベ■エゾゴマナ■エゾトリカブト■エゾノミツモトソウ*■エゾヤマアザミ■エゾリンドウ■オオダイコンソウ■オオヨモギ■オトギリソウ■カタバミ■キツネノボタン■キンミズヒキ■クサフジ■クルマバナ■コウゾリナ■コガネギク■サワギキョウ■シオガマギク■シロツメクサ*■セイヨウタンポポ*■タカアザミ■タニソバ■チドリケマン■トウヌマゼリ■ドクゼリ■ナガボノシロワレモコウ■ナギナタコウジュ■ハナタデ■ハンゴンソウ■ヒメジョオン*■ヒヨドリバナ■ホソバアカバナ■ホソバノヨツバムグラ■ミゾソバ■ミツガシワ（季節はずれ）■ミツバフウロ■ミツバベンケイソウ■ミツモトソウ■ミミナグサ■ムラサキツメクサ*■ヤナギタンポポ■ヤマハハコ■ヨシ

※次号から花の情報は来年の春までお休みとなります。

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（9月15日～10月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ■マガン■オオハクチョウ■アオサギ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■ノスリ■コゲラ■コアカゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■クマガラ■チゴハヤブサ■モズ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ヒバリ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■メジロ■コヨシキリ■ゴジュウカラ■キバシリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■キセキレイ■ピンズイ■タヒバリ■アトリ■カワラヒワ■マヒワ■ベニマシコ■アオジ■クロジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

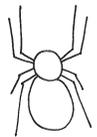
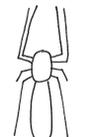
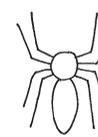
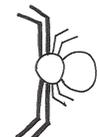
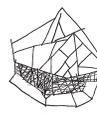
※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ アルバイト大学生のクモ日記③ ☆☆☆☆

こんにちは。いよいよ最終回は、クモの簡単な見分け方をご紹介しますと思います。1つ目はシート状の網を張っているサラグモの仲間。2つ目にお腹がひし形っぽいのがオニグモの仲間（コガネグモ科）。お腹に2対のくぼみがあることも特徴です。3つ目は全体的に細長く、足がとても長いのがアシナガグモの仲間。顎がハの字になっているものもいます。平べったいのがカニグモの仲間。目が大きくこちらを見つめてきたり、ぴょんぴょん跳ねたりするのがハエトリグモの仲間。その他にもた

くさんいるのですが、詳しくは次のページのクモ一覧表を見てください。また、この一覧表以外にもまだまだいるので皆さんも探してみてくださいね！（和田山優輔）



科名	ツグモ科	カガ初モ科	ツツガモ科	キツガモ科	ツグモ科	ツグモ科	カガモ科	ハトリガモ科
クモの形								
巣・網の形	 ハンモック網	 垂直に張る	 水平に張る	なし	 フキの葉の上などに作る	ヨシやハンノキの葉を折り曲げる	なし	ヨシやハンノキの葉を折り曲げる
代表種	シロブチサラグモ	ナカムラオニグモ	エゾアシナガグモ、ウロコアシナガグモ	スジアカハシリグモ	イナスマクサグモ	クリイロフクログモ	ワカバグモ、ヨコフカニグモ	オスクロハエトリ、キタヤハズハエトリ

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「ザリガニウォッチング2～ニホンザリガニ編～」10月6日 参加者：14名



絶滅危惧種ニホンザリガニの生態を知り実際に探しに行くイベントを行いました。最初に講師の照井氏から、外来種を含めた国内のザリガニの生態等について講義していただきました。その後屋外へ繰り出し、ニホンザリガニの潜んでいそうな箇所を全員で搜索しました。開始早々見つかったのは、今年生まれと思われるエゾアカガエル。そして少し先の水場で丸太をひっくり返すと、メス1匹と、残念ながら死んでしまっていた個体1匹を発見しました。見つかったのは結局この2個体だけでしたが、ニホンザリガニの貴重さを身を持って体験できました。

☆☆☆☆ イベントのご案内 (11月) 事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪ 初冬の植物を見に行こう

〔日時〕 11月17日(日) 10:00～12:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 無料

〔場所〕 温根内ビジターセンター

これから厳しい冬を迎える湿原。植物たちはどのような戦略で冬を乗り切るのでしょうか。

♪ クリスマスリースを作ろう

〔日時〕 11月24日(日) 13:00～15:00 〔定員〕 15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 ¥500(材料費)

〔場所〕 温根内ビジターセンター

もうすぐクリスマス。自然の素材を使ってオリジナルのリースを作りましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと) ⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪ クリスマスリースを作ろう

〔日時〕 11月23日(土) 13:00～15:00 〔定員〕 10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 ¥500(材料費)

〔場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター

～閉館時間が変わります～

11月から翌年3月までの冬季期間は開館時間が9:00～16:00に変更となります。トイレも16:00の閉館をもってご使用できなくなります。また、休館日の火曜日も終日トイレはご使用になれませんのでご注意ください。



月刊 温根内通信 No.277

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00(11月～3月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料